

# 走りへの情熱は、決してさびない。

総合3位になった'87年以来、常に勝つことだけを考え、数分の無駄も許さず、速さだけを競う世界が僕のパラダイムだった。ラストランと決めて参戦した、06ダカールラリー。何が何でもゴールをしたいと懸命に頑張ったけれど、残念ながらリタイア。思いは果たせなかった。しかし、不思議と不完全燃焼ではなかった。正直なところ、最初の数日は少しばかり悔しかった。ところが、砂をかき、冷や汗をかきながら、息も絶え絶えの車に、頼む走ってくれと声をかける毎日が、苦しいけれど面白く、疲れたけれど楽しかった。車が壊れて、途中でラリーは終わってしまったが、今までとは全く違うパラダイムを体感し、真のパラダイムの醍醐味を知ったような気がした。そしてまた、僕の中で当然のように走るための思考が始まる。おい、おい、もうその必要はないのだぞ。まて、まて、まだ余地はありそうぞ。体中の虫が騒いでいる。たとえ往生際が悪いといわれても、本音はやはり走っていたいのだ。もう一つのパラダイムを知った今、もう少し走りたいと切に思う自分がそこにいた。

篠塚健次郎

## 篠塚健次郎 Profile

1970年～三菱ファクトリードライバーとしてラリー参戦。  
1976年、サファリラリーで日本人初の総合6位  
1986年、パリ～ダカールラリー初出場。  
1987年パリ～ダカールラリー総合3位、  
1988年総合2位の好成績を挙げ、  
同時にWRC(世界ラリー選手権)にも出場決定。  
1988年アジア・パシフィックラリー選手権  
(APRC)の初代チャンピオンに。  
1991、92年のWRCアイボリーコーストラリーで  
2年連続総合優勝。  
1997年、パリ～ダカールラリーで総合優勝。  
2000年パリ～カイロラリーにて大クラッシュ。  
再起を危ぶまれたが、けがを克服。  
2006年ダカール・ラリーを最後にトップを競う  
競争の世界ではなく、生涯現役ラリードライバーとして  
走れる限り、走り続ける道を選択。  
2007年パリ～ダカールラリーに出場。  
5年ぶりとなる完走を果たす。

# クルマへの愛情は決してさびない。

サビと塗装劣化から、特許技術でクルマを守る。フロリダで開発されたラストアレスターは、特許技術「ラスト・プリベンション・システム」を採用した、環境にもやさしい車両用防錆システム。車体に取り付けることによって、塗装の劣化やサビの進行を遅らせ、あなたのクルマの耐用年数をのばします。

## ■特許技術[Rust Prevention System]とは？

錆(Rust)は、酸化還元反応によって金属表面が電子を失ってイオン化し、その表面から脱落していくことで進行します。ラスト・プリベンション・システムは、電位差によって不安定になった金属面に人工的に電流を流し込むことによって電子の動きを安定化させ、錆の発生を抑制する特許技術です。



電子防錆システム  
ラストアレスター

**RUSTARRESTOR®**  
ラストアレスター  
PAT. NO. 2579259

<http://www.rustarrestor.jp/>  
株式会社 ラストアレスター・ジャパン